

陰に日向に働くひとりひとりに捧げる。

ゴミ収集員の仕事を通して描かれる“再生”の物語

ゴミ屑と花

国内外の映画祭で注目

ゴミ収集会社の協力により製作された
社会を描く渾身の初監督作

STORY

精神的な理由により自衛隊航空パイロットを辞め、家族を養うためゴミ収集の仕事を始めた尾崎浩一（33）。研修期間中、指導員・橋本花（20）と共に深夜のゴミ収集を始める。200件ものゴミを回収していく中で重たいゴミ、汚物、悪臭にまみれたゴミに圧倒される。浩一たちを鬱陶しがるサラリーマン、感謝の声掛けをする店員、気にも留めず通り過ぎる人……。様々な人の眼差しを受けながら、周囲を汚さず通行者に配慮しながらひたむきに働く花に浩一は生き方にある種の『美しさ』を感じる。影の功労者_____アンサングヒーローの物語。

監督コメント

この物語を書くときに、様々なゴミ収集員の方に取材をした。その中でゴミ収集の仕事を『ゴミ屋なんて誰でもできる、大したことない仕事』だと寂しそうに言う人がいた。そんなことはない、と私は強く伝えられなかった。軽く、『そんなことはないですよ』としか伝えられなかった。コロナ禍ではエッセンシャルワーカーの存在が脚光を浴びた。制限がかけられ、これからどうなるのか正解が分からない不安を感じた日々。その日々を支える人々に改めて感心する中で、その人はそう言った。だから私はゴミ収集の世界を描いた一夜の物語を、ゴミ収集員の方たちに向けて届けたいと思った。『そんなことはない』と、その人に強く伝えるために。この映画がたくさんの人の心に届くことを願っています。

『ゴミ屑と花』

2023年 / 日本 / 30分 / カラー / 16:9 / ステレオ

価格:15,000円(税抜)

品番:BBB-1093

館内上映



個人貸出



個人視聴



上記許諾に加え団体貸出権付 38,000円(税抜)

取扱店



監督:大黒友也

植木祥平 花柳のぞみ

岩本淳 木村知貴 岩立紫竜 Stefanie Arianne 中野剛

脚本:小谷香織 大黒友也 撮影:佃友和 照明:竹森哲平 録音:荒武美紗子 編集:吉川智也 整音:茂木祐介 助監督:山本屋歩 音楽:今村左閑

